

福祉サービス第三者評価結果表

① 第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
評価実施日	平成23年3月3日
評価調査者番号	① 2101
	② 2201
	③

② 事業者

名 称 (法人名)	福島県やまぶき荘 (社会福祉法人 福島県社会福祉事業団)	種 別	特別養護老人ホーム
代表者氏名	園長 菅沼 貴代晴	定 員 (利用者数)	100人 (100人)
所在地	〒961-8061 西郷村小田倉字上野原452-1		
連絡先	電話番号：0248(25)2106 FAX番号：0248(25)5031 ホームページアドレス： http://www.fukushima-sj.jp/ メールアドレス：yamabuki@snow.odn.ne.jp		

③ 総 評

◇ 特に評価の高い点

【地域住民との交流を大切にする開かれた施設】

当施設は昭和48年に開設され、年間を通じて多くのボランティアが施設を訪れている。地域住民との交流にも歴史があり、長年築き上げられた信頼関係は、4つの行政区との協同による「盆踊り大会」として地域に根付き、施設における盛大な行事となっている。準備段階から地域住民と共に作り上げる行事は、利用者を始め、利用者家族や地域の方々の楽しみの一つとなっている。

【リスクマネジメントに対する取り組み】

利用者に安全・安心を提供するためのマニュアルや手順書を整備するとともに、施設内にリスクマネジメント委員会を設置したり、リスクマネージャーを養成するなどして、定期的または必要に応じて安全確保に向けた会議を開催している。問題が生じた際は、その原因を迅速に検証し、必要に応じて職員間でロールプレイ（実際の場面を想定し、様々な役割を演じさせて問題の解決法を会得させる学習法）を徹底して行い、改善に向け積極的に取り組んでいる。

【人事管理体制の整備】

法人として人事考課要領を作成し、考課基準を明確に定めている。定期的に行なわれる人事考課は、職員の仕事に対する意欲の醸成につながっており、その結果は研修や職員指導などの人材育成等に活用されている。研修についても、外部研修に職員を派遣する他、法人全体で取り組む階層別研修や施設内部で行う専門的な研修を行っており、またプリセプターシップ制（先輩職員と新人職員がペアを組み日常業務を通じて指導を行なうこと）の導入による人材育成など組織的に取り組む姿勢は評価できる。国が求めるキャリアパス（職員の経験や職歴を踏まえた段階的な人材育成と展望）の構築についても検討されており、専門性の向上と働きやすい職場環境の整備に向けた今後の取り組みに期待したい。

◇ 改善を要する点

【中・長期計画の策定とそれに基づく事業計画の実施】

築後37年を経過している建物は、十分な居室空間の確保をはじめ、浴室、トイレ、ダイルーム、面会室などハード面の課題が多く残されている。職員は様々な工夫を凝らし、知恵を出し合い努力を重ねているものの、介護のための十分な空間、尊重すべき権利など、さらなるサービスの質の向上に結び付けていくためには、施設環境整備に対する検討が必要である。そのためにも、法人本部と協議の下、施設の中・長期計画を早期に策定し、計画に基づく事業の実施が望まれる。

【地域の福祉ニーズへの対応】

現在、短期入所事業が空床利用型のため地域住民のニーズに答えきれない状況にあることを踏まえ、施設環境整備と併せて短期入所事業の見直しを中・長期計画に盛り込むなど検討してほしい。さらには、地域で生活する高齢者支援のために、関係団体、ボランティア、地域住民との交流の機会を積極的に活用し、福祉ニーズの把握、それに基づく事業・活動を展開されることを期待したい。

④ 第三者評価に対する事業者のコメント

⑤ 評価結果

別紙のとおり